

# ディーセントワークデー推進ニュース

No.2

*Decent Work* 働きがいのある人間らしい仕事

2010年10月26日

全労連

(全国労働組合総連合)

Tel 03-5842-5611

Fax 03-5842-5620

## 「ワーキングプア」をなくそう！ 誰もが安心して暮らせる安定した良質な雇用を

### 第2回ディーセントワークデー全国で

東京：大塚駅前

全労連が進めているディーセントワークデー、その第2回が10月15日、全国31都道府県で取り組まれた。東京では昼に大塚駅前で行動がおこなわれ、40人が参加した。

大塚駅前の宣伝では、全労連の根本隆副議長が「年収200万円以下の労働者が1099万人に上る」と述べ、派遣労働者が残業代を請求しただけで契約更新をされなかったという相談を紹介しながら、「こうしたあり方や社会は許されない。正規だろうが非正規だろうが、同じ賃金で雇用が安定している社会をつくろう」と訴えた。派遣法について、「早く審議入りして、派遣労働者の実態に対してどのような法改正が必要か、議論を尽くして早期成立を」と強調した。

生協労連の北口明代副委員長がマイクを握り、最低賃金引き上げと均等待遇の実現を訴えた。正規とパートの雇用差別のかげに女性差別が隠れていると指摘。非正規労働者は全体では34%だが、女性では5割以上になる。「女性だから不安定・低賃金で良いという気持ちがあるのではないか」と述べ、国連の女性差別撤廃委員会やILOから、日本の女性の低賃金と国会議員や、管理職への女性の進出の度合いが低いと繰り返し指摘されていることを紹介。「組合に入ってともに頑張ろう」と呼びかけた。

婦団連の伍淑子副会長が訴え。一昨年の派遣村に触れ、今も同じ状態が続いていると指摘。女性は家計補助だから選択肢がたくさんあったほうがよいと言われるが、妊娠出産で7割の女性が職場を離れる現実の中で、再就職先は非正規しかないのが現状だ。それが新卒者にまでおよび社会不安が大きく広がっていると指摘。「正社員には長時間過密労働が押し付けられ、長期休業や自殺者が急増している。働き方を改め、人間



らしい働き方をすべての職場で実現しよう」と訴えた。

福祉保育労の仲野智書記次長は、「福祉・介護の職場も非正規化が進んでおり、ホームヘルパーでは正規を探すのが難しいくらいだ」と指摘。「介護の職場や学童保育では結婚できない低賃金のために、男性の寿退社が生まれている。毎年人が入れ替わるような状態ではまともな仕事はできない」と強調。保育所で3月に担任した子どもから「大きいクラスになっても一緒にあそぼーね」と言われる保育士が1年契約で4月には保育所にいないということで良いのか。ホームヘルパーが毎日違う人になって安心して家に入れることができるのか。非正規や有期の働き方を考え直さなければならない。高い専門性を身につけるためにも働き続けられる賃金・労働条件を、と訴えた。

首都圏青年ユニオンの山田真吾書記次長がすき屋の残業代未払いの解決報告を行った。ゼンショーの会長は「世界から飢えと貧困をなくす」と言っているが、自らの足元で貧困を広げていると告発。労働基準法には「人たるに値する労働条件」と書かれている。残業代を払わない、最低賃金を満たさない、有給休暇が取れないような会社は人たるに値しない条件で働かせていることを自覚してほしい。地域から法律違反をなくそうと訴えた。

午後1時半からは、ラパスホールで労働法制中央連絡会の総会が開かれ、派遣法の早期抜本改正と、有期労働契約規制など2010年度方針と役員体制を確認した。

#### 各地の取り組み

### 「最低賃金779円にあがったんやてえ」と宣伝

～大阪労連

朝8時からなんば駅前で「今日から大阪の最低賃金が779円になりました。それでもまだ不十分な金額です。1000円以上に引き上げを。」と訴え、「最低賃金779円にあがったんやてえ」のチラシと労働相談のチラシを配布しました。ティッシュも一緒なので取りがよく、約700枚のチラシを配布できました。

自治労連、医労連、大阪国公、自交総連、大阪労連など19人が参加。たまたま、近くで宣伝していた日本共産党の元市議員清水ただしさんもマイクを握って訴えに参加してくれる場面もありました。

また夕方には天王寺でも宣伝を行うとともに、東大阪など地域でも宣伝しました。



### 通勤客の反応に、寒さ忘れた 札幌市内4カ所でターミナル宣伝

～道労連

15日、札幌市内4カ所でターミナル宣伝を実施、30人が参加しました。

「年収200万円以下の労働者が1100万人に迫り、4人に一人が働いても暮らしていけないワーキングプアとなっています。非正規労働者は女性や青年では5割を超えています。長時間過密労働による

健康破壊も深刻です。均等待遇、ディーセントワークの実現で、誰もが働きがいとゆとりを持って働き、生活できる社会にするために一緒に声をあげましょう」の訴えに、たくさんの人が通勤途中の足を止め、ビラを受け取り、熱心に目を通す姿に、寒さも忘れた宣伝行動になりました。

### 宣伝カーが市内を走り訴え

～青森県労連

10月15日、宣伝カーが青森市内を走り「誰もが安心して暮らせる、安定した良質な雇用を！」「ワーキングプア、非正規雇用をなくそう！」と訴えました。また、地元国会議員に派遣法改正をもとめ要請行動を行いました。

### 寒気の中元気に ティッシュ付きチラシ 200個が瞬く間になくなった

～いわて労連

10月20日、盛岡市大通りで県労連、盛岡地域労連、パ臨連で実施。前日には初霜が降りるなど寒気が入ってきていますがディーセントワークののぼりを立てて元気に宣伝。チラシをティッシュと一緒に配ったところ、受け取りが抜群によく、用意した200個が瞬く間になくなりました。

### 参加者の確信深めた チラシ500セット1500枚が30分でなくなる

～新潟県労連

15日、新潟市内で街頭宣伝を実施。十字路の各所にディーセントワークののぼりを立て、同一労働同一賃金、有期雇用の規制、派遣法の抜本改正などを訴えました。宣伝行動ではビラ3枚をセットにして配布しましたが、受け取りが大変よく、用意した500セット1500枚が30分で配布し終わり、参加者は大いに確信を深めました。

### 失業者アンケートに9割が応じてくれた

～山梨県労

15日、ハローワーク周辺で失業者と対話し、失業者アンケートを実施。9割相当の方が応じてくれました。

### 派遣法抜本改正求め宣伝

～岡山県労会議

10月14日17時30分～岡山駅ビックカメラ前で労働者派遣法の抜本改正を求めるチラシをティッシュに入れて約200個を配布しました。

夕暮れ時の駅前はずいぶん暗くなってきましたが、5人が参加。事務局長がマイクを握り、ディーセントワークという言葉は何度も説明するとともに、労働者派遣法の問題点や政府発表の労働力調査の内容などを説明しながら訴えました。ディーセントワークに関わる問題は多岐にわたり、あらゆる知識を動員して宣伝を行いました。

(以下続報)

毎月第3金曜日は、ディーセントワークデー

ディーセントワークデーキャラクター募集!

〆切12月10日 採用者には謝礼進呈  
全労連ディーセントワーク行動企画委員会

第3回ディーセントワークデーは、11月19日(金)「最賃引き上げ、賃金底上げで内需拡大を！」です。

憲法をいかし、なくそう貧困と格差、変えよう職場と地域、つくろう平和な世界